

福島小学校だより

福 **ふくしま** No. 11 令和4年2月28日

ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

卒業、進級に向けて

3月は一年の締めくくりの月です。6年生にとっては卒業という大きな節目を迎える月、他の学年もこの一年間を振り返り自分の成長の足跡をしっかりと見つけ、4月からの新たなスタートに向けての目標を立てる月です。子どもたち自身が成長をしっかりと実感できるようまとめをしていきたいと思っています。

3学期は新型コロナウイルス感染拡大のため、6年生のお別れ遠足、最終の授業参観、卒業を祝う集会も中止せざるを得なくなりました。そんな中でも、6年生は卒業式に向けて「卒業生の言葉」の制作と練習に励んでいます。1年生から5年生までの子どもたちは、お世話になった6年生に「感謝の思いを伝えよう」を合言葉に、手紙やプレゼントを渡し一緒に遊ぶ計画を立ててくれているようです。また、卒業式に向けて、玄関を始め廊下、階段の掲示板には各学年が工夫を凝らしたお祝いの作品が掲示されてきました。コロナ禍にあっても、今できることを見つけ、仲間と共にできる行事を楽しみ、一生懸命がんばっている姿に子どもたちの成長を感じています。

「ひしもち」のいわれ

3月3日のひな祭りに飾る「ひしもち」について最近読んだ本から紹介します。

お餅というと四角か丸い形なのに、なぜひしもちはその形になったのでしょうか。いくつかの説があるそうです。一つめの説は、仙人が食べ不老長寿を得たという菱の実をモデルにして「菱形」になった。二つめは、「心臓の形」を表現した。三つめは、四角を伸ばすことで長寿を祈願した。人が生活を営む「大地」を表現している。だいたいこの四つが有力です。

では、ひしもちには3色が積み重ねられています。どうしてあのような色になったのでしょうか。実は、400年ほど前の江戸時代は、2色だったそうです。菱の実からつくられた白い餅の層と、それをヨモギで色付けした緑の餅の層があり、それを3〜5段組み合わせていました。3色3段になったのは、今から150年ほど前の明治になった頃で、クチナシの実を混ぜた赤い層が加えられました。

ひしもちの飾り方も、下から「白・緑・赤」のときは、雪の中から新しい芽が吹き出して桃の花が咲いている様子を、下から「緑・白・赤」のときは、雪の下に草木が芽吹き、梅の花が咲いている様子と言われています。

校長 中村佑佳子

3月の学校行事予定です。

1 (火) 交通・挨拶指導	11 (金) ALT来校	24 (木) 終業式
2 (水) 委員会(引継ぎ)	14 (月) スクールカウンセラー来校	31 (木) 離任式
3 (木) 集金1日目 ALT来校	17 (木) 卒業式準備(4・5年)	4月
4 (金) 集金2日目	(1・2・3・6年は給食終了後	8 (金) 始業式
8 (火) 河北中学校卒業式	13:25頃下校)	11 (月) 入学式
10 (木) 校外児童会(6限)	18 (金) お別れ式 卒業式	12 (火) 給食開始(新2〜6年)
卒業式会場準備(5年1・2限)	21 (月) 春分の日	19 (火) 給食開始(新1年)

4年生 図画工作 「これでえがくと」
〜いとしまぬの、いろをぬろ!〜
(ポイント: 材料の色や形、さわりごちをいかし)



年が明けてからあっという間に3月です。天気予報によると、これからどんどんと暖かくなっていくそうですが、本望にそうとは思えないくらい寒さが厳しい日が続いていますね。
春になると、重かった衣服が少しずつ軽くなっていきます。衣がえです。お休みの日に、春に向けて服やお布団を整理する人も多いのではないのでしょうか。

さて、そんな衣がえをひかえた今ですが、4年生は図画工作の時間に、おうちで使わなくなった布やひもを使って作品作りをしています!

布やひもをもってきてもらうにあたり、正直、「(ちょっと足りないかもな...)」「(あんまり集まらなかつたらどうしよう...)」と考えていました。が、いざ持ってきてもらってびっくり!

そんな心配がいらぬくらいの量の材料が集まりました!!!! (写真には一部しか写っていません!) ご協力ありがとうございました。

さて、写真のように、台に材料をならべて、実際にさわってみて、使いたい材料を選びます。「この色いいな!」「このさわりごちは〇〇にしているな!」「この材料、あれに使えそう!」というような声があちらこちらからあがりました。布を切るのは、先生の仕事にしていたんですが、「先生、この形に切ってください。」という熱心な注文がとて多く、わたしも一所懸命に対応しました。(ぬのやさんってこんな気持ちかな...)



材料を選んだら、自分の厚紙の上にどんどん貼っていきます。貼り方も、形や色などを見て、重ねたり、つなぎあわせたり、いろんな工夫が見られました。

その上から絵の具を塗って作品を仕上げていきます。材料の特徴を生かした、いい作品が



多く出来上がったと思います。

今年度は楽しくいろんな作品に挑戦しましたね。来年度のみなさんの作品にも、期待がかかりますね...!